

令和5年1月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,173	304,441	303,600	304,186	841	255
2 調定水量	m ³	624,554	6,359,191	6,448,000	6,457,217	△ 88,809	△ 98,026
3 調定料金(税抜)	円	168,272,738	1,710,201,397	1,724,000,000	1,729,899,214	△ 13,798,603	△ 19,697,817
4 口振加入件数	件	24,821	250,356	—	250,870	—	△ 514

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,930	189,160	188,700	186,216	460	2,944
6 調定水量	m ³	395,371	3,924,698	3,892,600	3,942,218	32,098	△ 17,520
7 調定料金(税抜)	円	62,679,791	623,213,326	614,220,000	623,699,588	8,993,326	△ 486,262

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	75,356	—	76,619	△ 1,263
9 給水件数	件	29,995	—	29,975	20
10 開栓処理件数	件	121	2,443	2,282	161
11 閉栓処理件数	件	154	2,599	2,480	119
12 給水工事設計審査	件	30	430	481	△ 51
13 給水工事竣工検査	件	40	576	524	52
14 経年メーター交換	件	271	3,766	3,502	264
15 メーター口径変更	件	3	56	61	△ 5
16 督促状発送数	件	1,366	13,539	13,318	221
17 月末停止件数	件	97	—	88	9

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	20	313	299	14
19 排水設備工事完了検査	件	23	298	272	26

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
20 当年度分	194,857,347円	89.64%	197,260,615円	89.64%
21 過年度分	3,177,768円	98.31%	3,798,326円	98.03%
22 計	198,035,115円	-	201,058,941円	-

登米市 水道・下水道事業キャラクター



スイちゃん ジョーくん 水守(みもる)さん

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
23 当年度分	85,214,888円	87.57%	83,253,179円	87.87%
24 過年度分	611,436円	99.22%	655,302円	99.17%
25 計	85,826,324円	-	83,908,481円	-

7 受益者分(負) 担金徴収関係

項 目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
26 当年度分	1,353,900円	96.39%	1,611,900円	95.64%
27 過年度分	1,648,200円	25.44%	2,313,100円	13.34%
28 計	3,002,100円	-	3,925,000円	-

特 記 事 項

1. 1月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・ 上水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は185,078千円(税込)で、前月期に比べて5,554千円の増、対前年同月比では3,612千円の減となっています。営業収益は185,471千円、営業外収益は事務手数料や預金利息など5,057千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など90,490千円、営業外費用は企業債利息33千円、特別損失は災害復旧費用として446千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、加入金として924千円の執行となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など17,332千円、企業債償還金として760千円を執行しました。

ウ たな卸資産購入

当期の支出は、非常用飲料水袋購入費用として2,640千円を執行しました。

・ 下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は68,933千円(税込)で、前月期に比べて2,643千円の増、対前年同月比では619千円の減となっています。営業収益は94,832千円、営業外収益は他会計補助金など121,307千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など77,388千円、営業外費用は企業債利息として3,736千円、特別損失は179千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、県補助金及び他会計出資金として120,390千円となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など10,973千円、企業債償還金として246,957千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 「普通救命講習会」を開催

上下水道部安全衛生委員会の事業として、消防署津山出張所から講師を迎え、1月19日(木)及び20日(金)に「普通救命講習会」を開催しました。

職場や家庭での突然の傷病への対応に備えるため、心肺蘇生法やAEDの使用方法などを中心に応急手当について学びました。



【心肺蘇生法を学んでいる状況】

(2) 固定資産管理(アセットマネジメント)研修会を開催

1月30日(月)に、総務省：地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業アドバイザーを講師として、職員研修を開催しました。

アセットマネジメントの実践により、中長期の更新需要の見通しやそれに伴う財政収支の見通しの視点を持った資産管理をすることにより、持続可能な上下水道事業運営ができる手法について学びました。

(3) 資金管理運用委員会を開催

1月16日(月)に資金管理運用委員会を開催しました。1月に2億円、2月に2億円の定期預金が満期を迎えることから、今後の資金運用及び資金計画について協議を行い、みやぎ登米農協に1か月間の定期預金2億円を預け入れすることとしました。また、預金利率の見直しを行い、2億円を仙北信用組合へ1年間定期預金することとしました。

令和5年1月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	833,165	8,362,076	8,092,040	8,325,455	270,036	36,621
総配水量	782,465	7,819,805	7,562,660	7,777,296	257,145	42,509
1 有効水量	685,623	6,887,692	6,956,400	6,915,287	△ 68,708	△ 27,595
(1) 有収水量	628,908	6,403,589	6,492,000	6,501,292	△ 88,411	△ 97,703
(2) 無収水量	56,715	484,103	464,400	413,995	19,703	70,108
2 無効水量	96,842	932,113	606,260	862,009	325,853	70,104
(1) 漏水量	96,710	920,312	600,000	857,924	320,312	62,388
(2) その他無効水量	132	11,801	6,260	4,085	5,541	7,716
3 有収率	80.38%	81.89%	85.84%	83.59%	-3.95%	-1.70%

※ 当月期の最大配水量は、26日（木）に記録した【27,227m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
浄水施設整備事業	6	64,020	6	54,846	0	0	9,174	85.7%
配給水施設整備事業	55	1,095,902	39	729,913	14	92,852	273,137	75.1%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 大巻取水口の浚渫作業を実施

1月17日（火）石越浄水場大巻取水場において、取水口（迫川）付近に堆積した土砂の浚渫作業を実施しました。この作業は、河川に堆積した土砂が取水樋管（堤防を貫通して設置した暗渠）に流入し取水の妨げとなることを未然に防止し、安定した取水を図ることを目的として行うものです。

この作業は河川の渇水期に年1回実施します。



【浚渫作業状況】

2 下り松ポンプ場自家用電気工作物年次点検を実施

1月19日（木）下り松ポンプ場において、自家用電気工作物年次点検を実施しました。

自家用電気工作物（出力10kw以上の非常用発電機等）設備や6kVの高圧受電施設などで事故を未然に防ぐため、電気事業法の保安規定で年1回停電して点検をおこなっております。



【点検状況】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m³/h)
	配水管	55	238.982
	付属施設	0	0.000
	給水装置	68	69.047
	計	123	308.029

【漏水調査結果：4月～1月（累計）】

※参考：漏水削減効果（金額換算）

約2,053,617円/日当たり
算定：R3年度給水原価 277.79円
累計漏水量 3080.29m³/h
308.029m³/h×24h×277.79円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道(迫・中田・登米・南方)	277,290	2,932,601	2,687,773	244,828		1処理場
特定環境保全公共下水道	51,339	541,929	553,050	△ 11,121		3処理場
米谷・錦織処理区	10,439	111,037	118,915	△ 7,878		
豊里処理区	29,911	315,177	313,501	1,676		
津山処理区	10,989	115,715	120,634	△ 4,919		
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	12,211	124,621	128,338	△ 3,717		
農業集落排水	100,843	1,143,593	1,140,937	2,656		24処理場
迫地区	7,910	91,045	99,581	△ 8,536		
東和地区	2,794	28,891	30,772	△ 1,881		
中田地区	28,372	269,395	313,023	△ 43,629		※水量訂正
豊里地区	1,837	19,732	20,014	△ 282		
米山地区	39,363	521,133	476,296	44,838		※水量訂正
南方地区	20,567	213,397	201,251	12,145		R4.4.1時点
浄化槽(特地・個排)	41,380	432,093	419,373	12,720		2,015基
合計	483,063	5,174,837	4,929,471	245,366		

※各処理場ごとの処理水量及び有収水量などの内訳は、別紙登米市下水道施設等維持管理状況報告書を参照。
※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	13	536,261	5	197,373	0	15,800	323,088	39.8%
ポンプ施設整備事業	1	25,000	1	23,100	0	0	1,900	92.4%
処理施設整備事業	82	334,091	25	159,230	54	74,517	100,344	70.0%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 産業廃棄物処理場の現地確認を実施

令和5年1月31日に、宮城県の産業廃棄物の処理の適正化等に関する条例に基づく産業廃棄物処理場の現地確認を実施しました。

現地確認を実施した処理場はジャパンサイクル(株)の施設で、下水道汚泥などを含む有機性廃棄物を肥料化しており、登米市からも年間1,600t程度を搬入しています。現地確認の結果、搬入している汚泥は適正に処理され、農地などへの肥料として還元されていることが確認できました。



【現地確認の状況】

2 迫町大東地区雨水排水路築造工事(最上流部)に着手

迫町大東地区の浸水被害解消に向けて、平成30年度から雨水排水路の工事に着手し、令和6年度の事業完了を目標に整備を進めています。

1月期、最上流部の雨水排水路築造工事に着手しました。この工事は、開削工法により排水路(ボックスカルバートW1,200×H800、施工延長L=42.11m)の整備を行うもので、令和5年3月の完了を予定しています。

○浄化槽整備事業受付状況 (1月末現在)

承認件数	実施件数	残件数
78	78	0

※令和4年度分の受付は、11月末で終了しました。